

富士市のごみを考える会通信2007年新年号

新年あけまして

おめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。今年もよろしくお願いいたします。

富士市がごみのない美しい都市になるまで、これからもうぞお力をお貸しください。

小野由美子



1月の予定

1月18日木曜日、9時半から、フィランセ3F 団体研修室予定

議題：2月17日消費連市民生活講座帆足養右先生講演会打ち合わせ
総会打ち合わせ、市補助金(18年度)

伝法小学校4年生の授業

- 1回目：11月9日 紙芝居、ごみ分別ゲーム、クイズ、
生ごみ堆肥作りの実践、畑植え作業
- 2回目：12月12日 ダンボールと米ぬか生ごみ処理、
EMぼかし作り、土調べ（虫いなかったー）

お礼の会の様子



なんと、授業の後、お礼の会をしてくれ、寄せ書きを本にしたものと歌を披露してくれました。

<富士川町ごみ対策委員会との情報交換会>

(担当 時田)

12月21日に開催された標記委員会に特別参加し、富士市及び富士川町のごみの現状、ごみ減量化への取組状況等につき情報交換しました。

丘小学校エコクラブ

毎週火曜日放課後:校長先生とエコクラブの生徒たちで、生ごみの資源化に取り組みました。大根も立派に育ちました。EM ぼかしも、宮野さんの指導の下、ちゃんと作れました。



炭化プラント見学報告

宮野 征男

見学月日 平成 18 年 12 月 6 日 (水)

見学先 愛知県田原市 炭生館

参加者 22 名 (内当会 : 14 名)

*炭生館について

炭生館は、田原市が PFI 手法・BOT 方式により採用した特別目的会社であるグリーンサイトジャパン株式会社により建設され、平成 17 年 4 月より田原市で発生する一般可燃ごみと可燃性粗大ごみを中間処理している。可燃物は炭化处理され出来上がった炭化物は、製鋼所に売却されている。また飛灰および不燃物は市により埋め立て処理される。契約期間は 15 年であり、期間終了後は、市に移管される。

詳細は、グリーンサイトジャパン (株) より頂いたパンフレットを参照して下さい。

*感想

田原市が採用した PFI 方式は、設計および地元住民との話し合いの段階から建設・運転にいたるまで民間の知恵 (ノーハウ) が生かされる魅力ある方式である。また 5 社連合で特別目的会社を作っているのも長期間の契約でも契約企業が倒産するような心配もないと考えられる。

炭生館の外観は今までの迷惑施設のごみ処理施設とは違って、博物館か図書館のようであり、めだかを飼っているビオトープや風力発電機が併設されていて全体的にも環境への配慮が窺われる。また建物の内外でいわゆるごみ臭が全く無い、非常に低い煙突はあるが外からは見えない。これは排気ガス処理の技術の高さを示すものであり注目される。

可燃ごみを炭化物として売却し、最終埋め立てごみを最小化していることは、循環型社会を形成するごみ処理の優れた方式の一つであると思われる。富士市でも既成の方式にとらわれる事無く、新しい方式や発想を取り入れた新たなごみ処理方式を検討してもらいたいと、痛切に感じられた一日であった。